

# 岩崎酒店 糰屋便り

2015年7月号  
NO.5

発行者：岩崎酒店 川崎市高津区溝口 3-11-15 TEL：044-822-2027 営業時間：10～20時  
定休日：毎週火、毎月第2・3月曜 <http://www.mmjp.or.jp/kouji-ya/>

皆さんこんにちは。いつも当店をご利用頂き有り難うございます。いよいよ暑い季節になってきましたね。しっかり冷やしたワインや日本酒をぜひ宜しくお願ひします。

さて今回は、今国会で議論されている‘日本の安全保障’について素人の乱暴な意見を述べさせて頂きたいと思ひます。私は自国の領土や自国民の安全、自国に関係する世界中で起きる全ての事に自ら積極的に対処できるようにする事に賛成です。それでこそ初めて世界が一目を置く日本らしい平和国家が築かれると思ひます。今のままの何もできない日本では世界の国々の理解は得られないでしょうし、日本の存在感はますます低下する一方です。勇気を持って変えて行くべきです。何かやればいちいち聞こえてくる周辺国の雑音にもはや我々世代が過度に気を配る必要はないはず。もちろん過去を忘れてはいけませんし、戦争は絶対やってはいけませんし、加担してもいけません。でもこれからは綺麗事だけでは通用しません。最近世界で日本人がテロなどに巻き込まれて亡くなっている事が増えているように、日本だけが争いに巻き込まれないで安穩とやって行く事は難しいはず。自衛隊の活動範囲を広げておく事は必要だと感じます。

安全保障関連の法律をつくるうえで、はっきりと線引きできない課題に対して細かく法律をつくらうとすることは不可能です。大きな方向性を決めて必要最低限な法律を整備したら、あとはその時々政権や国民がしっかりと判断するしかありません。良識ある優秀な日本国民はどんな有事にも最も懸命な判断が出来ると信じる事が重要です。誰が見たって軍隊である自衛隊が違憲か否かと未だに議論しているのですから、今回の件と合わせて私は憲法を改正するのが先だと思います。しかしながら解釈変更も、そもそも憲法を解釈で理解してきたのですから、別に特別な事

は無いと思ひます。安倍首相も本当は憲法改正したいのですが、今の世の状況ではまず不可能なので、違憲なのも説明がつかないのも承知で安保関連の法律を先に作って既成事実を積み重ねてから後に憲法改正をしようとしているのかもしれませんが。

ところで自衛隊員のリスクについても不毛な議論が繰り返されていました。そもそも自衛隊の任務が先守防衛であったとしても、常に命の危険と隣り合わせなのであって、リスクは他の国の軍隊と同じなはず。実質軍隊である自衛隊に対しリスクの高低を論じる事自体が滑稽な話で、それこそ覚悟を持って一生懸命訓練に励む自衛隊員を愚弄する行為です。さらには、どこが戦闘地域でどこが非戦闘かなどというおかしな議論をいつまでやっているのでしょうか。そんな事は区別がつかない事は誰もが分かっていますし、戦闘地域だから自衛隊が行くのです。こんな議論をするぐらいなら、自衛の為の装備とは言え何兆円もの予算を使って維持する自衛隊などは解散して借金の返済に当てた方がいいのです。政治家はもっとリアルな議論をして欲しいと思ひます。

白黒つけられない問題に連日のようにただの言い合いを重ね、相変わらず税金を浪費しています。政権担当時にあれだけの大失敗をしたにも関わらず、未だ野党根性の抜けない民主党各議員の生産性のない挙足取り質問と、それに対し言うべき事をはっきり言えない自民党や政府。これが世界第3位の経済大国のレベルなのでしょうか。国会がこの有様でも国は日々動き維持されていると言う事は、日本の国民が本当にまじめで優秀である証拠ですね。皮肉なものです。安全保障関連法案は今国会で通過しそうです。戦争をしない平和で強い国作りを目指して欲しいです。本当に優秀でバランスのある国会議員の方に頑張ってもらいたいと思ひます。

